

2021 年 期 第 6 回 テーマ

25～32 班

テーマ	<p>あなたは 2021 年 12 月末を決算日とする上場会社クライアントの法定監査に主査として従事している。</p> <p>期末監査期間中の 2022 年 1 月下旬にあなたがメールチェックをしていると、グループ監査において重要な構成単位である海外連結子会社の監査チームのパートナーから、親会社のグループ監査チームに対して、現地のコントローラの指示による架空売上が、当年度以前に 3 年間計上されていたことが内部通報制度により判明したとの報告があった。</p> <p>なお、2022 年 1 月中旬に、外部監査人である現地監査チームは、親会社の監査チームからの指示に従って実施した売上に対する監査手続の結果に異常性はなかったと結論付けていた。</p> <p>そこで、以下の問いについてあなたの考えを述べなさい。</p> <p>① 主査として今後どのような監査対応が必要となるのかについて述べなさい。なお、監査対応に関する前提条件等は各自で適宜設定すること。</p> <p>② 公認会計士監査の信頼回復という観点からは、今後どのようなアプローチで当該クライアントの利害関係者とコミュニケーションを図るのが最善策といえるのかについて述べなさい。</p> <p>③ ①②を踏まえて、あなたが考える目指すべき公認会計士の将来像を述べなさい。</p>
-----	---